

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式								
E142F011		地理学実習 (Practice on Geography)														
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
選択	1	3	教育学部			氏名 小山拓志・土居晴洋 E-mail ktakushi@oita-u.ac.jp (小山), hdoi@oita-u.ac.jp (土居) 内線 7548 (小山),										
授業の概要	主として前半は自然地理学に関わる技能を、後半は人文地理学に関わる技能を対象とする。与えられた課題について、各自で図上作業やパソコン操作を行うことにより、技能の習得を図る。															
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1 学術文献・地域資料の検索, 入手, 読解ができる。																
目標2 地形図・空中写真の読解, 分析ができる。																
目標3 統計データの入手, 分析, 読解ができる。																
目標4 論理的に考え, 意見交換を行うことができる。																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容																
1 学校教育「地理」における地理的技能(担当:土居晴洋)																
2 地形図の判読(担当:小山拓志)																
3 水系図の作成(担当:小山拓志)																
4 空中写真の判読(担当:小山拓志)																
5 地形分類図の作成(担当:小山拓志)																
6 GIS(地理情報システム)の概念(担当:小山拓志)																
7 投影法の概念(担当:小山拓志)																
8 地図データの入手(担当:小山拓志)																
9 GISによる主題図(担当:地形等自然条件)の作成(担当:小山拓志)																
10 地域資料の入手(1):地域資料の種類と所在(担当:土居晴洋)																
11 " (2):統計データの入手(担当:土居晴洋)																
12 統計データの解析(1):EXCELの基本的操作(担当:土居晴洋)																
13 " (2):EXCELによる統計データの解析(担当:土居晴洋)																
14 " (3):EXCELによるグラフの作成(担当:土居晴洋)																
15 GISによる主題図(人口・産業)の作成(担当:土居晴洋)																
ラーニング	A:知識の定着・確認	受講生の主体的な検討による計画, 調査, まとめを行う。				工夫	LMS (Moodle) の活用									
	B:意見の表現・交換					その										
	C:応用志向					他										
	D:知識の活用・創造					の										
時間外学習の内容と時間の目安	準備	資料の読解, 疑問点の整理 (8h)														
	事後	課題の実施 (15h)														
教科書	野間晴雄ほか編著(2012)『ジオ・パルNEO - 地理学・地域調査便利帖 - 』海青社															
参考書	古澤拓郎ほか『フィールドワーカーのためのGPS・GIS入門』(古今書院、2011)															
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10				
	質疑応答など授業に主体的に参加する。	30%														
	時間外学習を適切に行う。	30%														
	課題を提出する。	40%														
注意事項																
備考																
リンク	URL															